



近江八幡市長  
ふじたにえいしょう  
富士谷英正

# 「活力とぬくもりあふれたまち」の 実現に向けて

この地域は、古くから農業を中心に栄えてきましたが、中世以降は陸上と湖上の交通の要衝という地の利を得て、織田信長公が築いた安土城、豊臣秀次公が築いた八幡山城や八



沖島

## 新市紹介 近江八幡市 (滋賀県)

本年3月21日、近江八幡市と蒲生郡安土町が合併し、新たに「近江八幡市」が誕生しました。

### 自然、歴史、文化に恵まれたまち

近江八幡市は、滋賀県のほぼ中央に位置し、北は琵琶湖に面しており、世界でも珍しい淡水湖に浮かぶ有人島である沖島を有しています。また、北東部に広がるラムサール条約の登録湿地である西の湖は、琵琶湖で最大の内湖であり、ヨシの群生地である水郷地帯は琵琶湖八景のひとつに数えられています。この近江八幡の水郷は、重要な景観の全国第1号として平成18年に国の選定を受けました。

## 新市紹介 久喜市 (埼玉県)



久喜市長  
たなかけんじ  
田中暄二

# 豊かな未来を創造する 個性輝く文化田園都市

本年3月23日に、久喜市、菖蒲町、栗橋町および鷺宮町が合併し、新たに「久喜市」が誕生しました。

### 人と愛、水と緑、市民主役のまち

久喜市は、埼玉県の東北部、利根川沿いの沖積平野にあり都心まで50km圏に位置しています。市内には、東北縦貫自動車道、首都圏中央連絡自動車道（建設中）が交差し、また、JR宇都宮線、東武伊勢崎線・日光線に計5駅を持ち、道路と鉄道の良好な交通利便性を備えています。古くから交通の要衝として発展し、首都圏のベッドタウン、産業界都市として開発が進められてきました。利根川をはじめとする河川や用水路などの水系にも恵まれ、水辺空間は、暮らしに恵みと潤いを与えています。さらに、用水路沿いに植えられたコスモスやポピーに加え、公園などに植えられた花しょうぶやラベンダーといった花々は、市を特徴づける景観を形成しています。

### 「埼玉県東北部の中核都市へ」 飛躍する久喜市

新市は、これまで受け継いできた、豊かな自然環境と地域独自の伝統や文化などの地域資源を生かして、新しい価値を創り出すまちづくりが必要となります。

現在、首都圏中央連絡自動車道の「(仮称)久喜白岡ジャンクション」および「(仮称)菖蒲白岡インターチェンジ」が建設されています。首都圏環状道路の整備により、都心から北関東・東北地方へと延びる放射軸と、都心50km圏の都市を相互に連絡する環状軸の交点に位置することとなります。

広域交通の利便性の向上に合わせ、新たな工業団地の整備も進み、製造業・流通業を中心とした企業の立地が決定しています。これらのことは、地理的な優位性と併せて、本市が首都圏有数の交通拠点となる可能性を飛躍的に高めていくものと考えています。

このような中、人々の生活スタイルの変化や少子高齢化の進行により行政に対するニーズも多様化されてきています。特に、健康に対する市民の意識は非常に高くなつてきており、医療体制整備は大きな課題の一つです。



- 人口 15万4722人
- 世帯数 5万8909世帯
- 面積 82.40km<sup>2</sup>  
(以上、平成22年5月1日現在)
- 特産品  
梨、イチゴ、花き、そば、清酒
- 観光名所・旧跡  
鷺宮神社、甘楽院、静御前の墓、菖蒲城跡あやめ園、神道無念流戸賀崎氏練武遺跡、コスモスふれあいロード、青毛堀川の桜
- 行事・イベント  
ブルーフェスティバル(6月～7月)、提灯祭り(7月)、土師祭(9月)、久喜市民まつり(10月)、静御前まつり(10月)



「(仮称)久喜白岡ジャンクション」完成予想図

### 新市プロフィール



- 人口 8万1756人
- 世帯数(住基) 3万687世帯
- 面積 177.39km<sup>2</sup>  
(以上、平成22年6月1日現在)
- 主要産業・特産品  
八幡瓦、押絵細工、八幡靴、すだれ(葦)、近江牛、近江米、赤こんにゃく、丁字麩、水郷野菜、湖魚、でっちゃんかん
- 観光名所・旧跡  
水郷、安土城跡、八幡山城跡、沖島、ヴォーリス建築、安土城考古博物館、資料館、日牟礼八幡宮、かわらミュージアム
- 行事・イベント  
左義長まつり、八幡まつり、篠田の花火、足伏走馬、あづち信長まつり、沙々貴まつり、伊崎のさお飛び、八幡てんびんまつり

幡堀、山城としては全国屈指の規模を誇る観音寺城など多くの城が築かれました。また、織田信長公の改革精神により開かれた楽市楽座は、豊臣秀次公の自由商業都市の思想に引き継がれ、全国的にも有名な近江商人の基礎を築きました。このように、近江八幡市は水と緑に恵まれた美しい景観と歴史、風土に恵まれた地域です。

### 一度ぜひお越しを

この他にも、近江商人の活躍を今に伝える重要伝統的建造物群保存地区、名誉市民であるウィリアム・M・ヴォーリス氏が設計された建物など、全国的にも貴重な歴史・文化遺産が数多く存在しています。今回の合併の相乗効果により、旧近江八幡市と旧安土町が持つ

ていた良さを一層引き出していきたいと考えています。このような自然、歴史、風土、文化を最大限に活かし、新市のまちづくりの将来像として掲げております「自然の恵み、歴史と文化に根づく『生業』が広がり、起業する活力とすべての人々が支え合える、ぬくもりあふれたまち」の実現に向けまして、誠心誠意取り組んでまいります。交通アクセスにも恵まれ、京都から新快速で約30分、大阪から約60分と非常に便利です。お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りいただき、近江八幡市の自然、歴史、文化に触れていただきたいと思います。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。